若者定住の促進へ 具体的な施策を より良い手法を検討し 随時実行していく

新志会

柳村（まこと） 一議員

問 若者定住の促進は重要な課題と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

答 少子高齢化による生産労働人口の減少や地域活力低下への危機感があり、村としても最重要の課題と捉えています。若者が地域外へ流出する要因等を分析し、若者定住施策のよりよい手法を検討します。

また、「家庭や地域の絆の醸成」「若者の雇用機会の創出」「子育てしやすい地域環境の整備」という施策の中で実施できる事業は随時実施します。

アンケート結果の活用法は

問 滝沢村地域社会に関するアンケート調査報告書の結果を分析・把握し、今後の施策にどう反映させるのか伺います。

答 アンケート調査は、村の47の最適化条件を定点観測し、住民の思いや考えを把握するために毎年行っています。

この結果から各最適化条件のトレンドを把握し、最適化条件の達成に向けて行政としてどのようなことができるかを毎年の村長方針、政策方針、施策方針で明らかにして、各年度の実行計画に反映させていきます。

▲住宅新築が進む元村地区

その他の質問

22年度の政策方針と施策方針への次に対する具体的な取り組みについて

・若者の雇用機会の創出
・子育てしやすい地域環境の整備
・災害に強いまちづくり
・住民情報の適正管理
・学力向上対策の推進
・教育環境の整備・支援

健康で安心な村づくり これが村民の願い 雇用の場を創出し 生活不安の解消を図る

新志会

山谷 仁議員

問 21年度『滝沢地域社会に関するアンケート』調査によると、それぞれの年代で、満足できる点、不満足の点、重要度の高いもの、低いものが挙げられております。そこで感じられるものは、総じて「心身ともに健康で、安心して子育てが出来る、老後も安全・安心でこの村に住みたい」これが村民の想いであると考えるが、村はどう把握し、今後の施策に反映させるのか。

答 雇用の場の確保や、村の産業振興について重要度が高く、満足度が低いと住民が考えていることが解ります。

昨年オープンしたIPUイノベーションセンター、隣接して今年度造成を開始するイノベーションパークと誘致の基盤整備を鋭意進めています。

健康で老後を過ごすために『いきいきクラブ』や『いきいきサロン』など地域と一体となり、高齢者を住み慣れた地域で支えることが大切です。

また、犯罪のない村にし、人と人との交流が持てる場を設け、村民がいきいきと暮らせる村づくりをしていきます。

村の火葬場設置が必要ではないか

問 村民からの声にあるように、5万3千人の自治体に火葬場、墓地公園があると村民の心が休まるのではないか。これまでは、盛岡市、雫石町他にお願いをしている。

現在盛岡市では24年3月目処に、大型の新火葬場を建設中であるが、それとの関連も含めて慎重に考慮、検討すべきではないか。

答 現在、盛岡市では10炉の新火葬場建設に着手しておりますが、盛岡広域圏の中核として滝沢村を含めた他市町村の利用者の受け入れも計画に含めていると聞いております。今後も火葬場の使用が増加することが見込まれますので、本村の火葬場のあり方について再度検討してまいります。

前立腺がん検診も加え がん対策の強化を 前立腺がん・子宮けいがん ワクチン含め前進的に検討

新志会

高橋 盛佳議員

問 2020年には前立腺がんの死亡率が、肺がんに次いで第2位になると予測されるので、昨年、新志会の「予算要望書」で前立腺がん検診を要望したが、なぜ実施しないのか。

答 厚生労働省が20年3月に発表した「前立腺がんガイドライン」では、「現在、集団を対象とする市町村が実施する検診としては勧められません」とされ、がん検診実施のための指針には前立腺がん検診は含まれていないからです。

問 全国や県内の実施状況はどうか。

答 21年の調査によると、全国では1163市町村が、また県内では「全額自己負担」も含め32市町村が実施しています。

問 厚生労働省指針にもかかわらず、ほとんどの市町村で実施しているし、小中の女生徒への子宮けいがんワクチン導入拡大の現況を踏まえ、来年度以降がん対策強化できないか。

答 前立腺がん検診の32市町村実施や、村政懇談会での乳がん検診推奨、子宮けいがんワクチン実施要望も含め前進的に検討していきます。

一本木RMCの現況と今後

問 放射性廃棄物のクリアランス※導入心配ないか。

答 現在は、年2回の環境検査と監視委員会で、国の基準よりも厳しく監視しています。

本村とアイソトープ協会との公害防止協定についても、国の動向を注視しながら、必要に応じて対応します。

※「クリアランスとは」
一定基準以下の放射線廃棄物を産廃や一般ごみ同等に廃棄できる制度。原発解体のコンクリートや鉄骨の外、今回、研究用原子炉や医療用RIにも拡大する法改正が成立。

ブルークローバー・キャンペーンは、
日本で急増している「前立腺がん」の
「早期発見・適切治療」の大切さを伝える活動です。

村ホームページ リニューアル計画は 創意工夫を凝らし 積極的な情報発信に努める

新志会

遠藤 秀鬼（ひでき）議員

問 村民ニーズに的確に応える村ホームページの充実策の考えは。

答 住民の声を反映した行政運営と住民協働によるまちづくりの推進を図るべく、掲載内容の充実と迅速な情報発信に心がけ、村ホームページの運用向上と内容の充実を図りながら、積極的な情報発信に努めてまいります。

自衛隊岩手駐屯地の体制維持について

問 22年3月末までの中期防衛力整備に当たって、岩手駐屯地主力部隊の縮小改編が行われたが、今後これ以上の削減縮小が行われれば、安全安心の問題と共にまちづくりや地域経済に大きな影響を及ぼすと考えるが、村の認識と対応は。

答 岩手駐屯地は住民生活の安全・安心のため、日頃より災害時等の派遣要請に備え、速やかに出動を行う体制を整えていただいております。

これまでも幾度となく派遣・出動をいただいており、このことは滝沢村をはじめ県内の市町村にとって防災の要となっています。

本村としても、これ以上の削減縮小は、地域の衰退につながり、税収、交付金、地域の経済活動などの防衛施設が所在する優位性が削られます。

また、村内はもとより災害救助活動や県内の住民生活や地域活動にも支障を来しかねないことから、岩手山演習周辺市町村連絡協議会（盛岡市・八幡平市・滝沢村）として現体制を維持していただきたい旨の「陸上自衛隊岩手駐屯地の体制維持に関する要望書」を直接、防衛大臣、東北防衛局長に提出しました。

今後も内容に注視し、地域住民を守る岩手駐屯地の現体制の維持要望活動を継続してまいります。

その他の質問

①定住化促進対策について
・家族や地域の絆の醸成方策は。
・若者の雇用機会の創出は。
・子育てしやすい地域環境整備は。
②村長が推進する婚活支援事業について